

学校名		東京都立新宿山吹等学校			課程	通信制	科 コース	普通科	(令和8年度入学生)			
各教科 ・科目	学 年 類 型	標準 単 位 数	必修			学校必修			自由選択			※科目ご との履修 単位数総数
			1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次	
	必修・選択											
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	▲4	▲4	▲4							4
	英語コミュニケーションⅡ	4							4			0~4
	英語コミュニケーションⅢ	4								4		0~4
	論理・表現Ⅰ	2										0
	論理・表現Ⅱ	2										0
	論理・表現Ⅲ	2										0
家庭	家庭基礎	2										0
	家庭総合	4	◇4	◇4								4
情報	情報Ⅰ	2	◆2	◆2	◆2							2
	情報Ⅱ	2							2	2		0~2
地理歴史	江戸から東京へ	1~2										0
理数	理数探究基礎	1										0
	理数探究	2~5										0
人間と社会	人間と社会	1										0
共通教科・科目単位数計			0~31	0~31	0~31				0~2	0~31	0~31	0~31
商業	ビジネス基礎	2~4							2	2	2	0~2
	マーケティング	2~4							2	2	2	0~2
	ビジネス法規	2~4							2	2	2	0~2
専門教科・科目単位数計									0~6	0~6	0~6	0~6
外国語	English Conversation	2							2	2	2	0~2
情報	技能審査(情報)	0~20							0~10	0~10	0~10	0~20
学校外学修	校外講座	0~20							0~10	0~10	0~10	0~20
教養総合	生成 A I	2								2	2	0~2
教養総合	データサイエンス	2								2	2	0~2
教養総合	アントレプレナーシップ	2								2	2	0~2
教養総合	行動経済学・ゲーム理論	2								2	2	0~2
教養総合	クリエイティブグラフィックアート	2								2	2	0~2
教養総合	文章講座	2								2	2	0~2
教養総合	時事能力講座	2								2	2	0~2
教養総合	哲学対話	2								2	2	0~2
教養総合	ファイナンシャルプランナー	2								2	2	0~2
教養総合	心理学	2								2	2	0~2
教養総合	モダン建築	2								2	2	0~2
教養総合	ビジネス英語	2								2	2	0~2
教養総合	スペイン語	2								2	2	0~2
教養総合	消費生活と法律	2								2	2	0~2
教養総合	ひとりごはん教室	2								2	2	0~2
総合的な探究の時間Ⅰ		2		★2	★2							2
総合的な探究の時間Ⅱ		2			★2							2
ホームルーム活動			1	1	1							3~
生徒一人当たりの履修単位数計			~32	~32	~32							77~
習熟度別授業 少数数指導授業												
備考		<p>単位制・無学年制をとる。必修科目を履修し、選択科目と合わせて74単位以上(HRを除く)修得すれば卒業を認める。 1単位時間は50分とする。 「現代の国語」及び「言語文化」を履修後、「論理国語」「国語表現」「古典探究」を履修できる。 「歴史総合」を履修後、「日本史探究」「世界史探究」を履修できる。 「公共」を履修後、「倫理」「政治・経済」を履修できる。 「数学Ⅰ」を履修後、「数学Ⅱ」「数学B」「数学C」を履修できる。 「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」及び「数学A」及び「数学B」を履修後、「数学Ⅲ」を履修できる。 「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」を履修後、「音楽Ⅱ」「美術Ⅱ」「書道Ⅱ」を履修できる。 「英語コミュニケーションⅠ」を履修後、「英語コミュニケーションⅡ」を履修できる。 「英語コミュニケーションⅡ」を履修後、「英語コミュニケーションⅢ」を履修できる。 「情報Ⅰ」を履修後、「情報Ⅱ」を履修できる。 「現代の国語・言語文化」は、■の付いた年次で1回履修する。 「地理総合」は、□の付いた年次で1回履修。「歴史総合」は、☆の付いた年次で1回履修する。 「公共」は、▼の付いた年次で1回履修する。 「数学Ⅰ」は、◎の付いた年次で1回履修する。 理科は、○の付いた科目から3科目以上履修、または、○の付いた科目から1科目と▽の付いた科目を1科目履修する。 体育は、3種目を実施する。 保健は、●の付いた連続した年次で2単位履修する。 芸術は、△の付いた科目から1科目以上履修する。「英語コミュニケーションⅠ」は、▲の付いた年次で1回履修する。「家庭総合」は、◇の付いた年次で1回履修する。「情報Ⅰ」は、◆の付いた年次で1回履修する。 ★印の「総合的な探究の時間Ⅰ」および「総合的な探究の時間Ⅱ」は、原則、連続した年次で履修する。 卒業年度に「総合的な探究の時間Ⅱ」の履修が完了するようにする。 「人間と社会」は、「総合的な探究の時間Ⅱ」(1単位分)により実施する。 「技能審査(情報)」は、知識及び技能に関する審査に係る学修について、要件を満たした場合において、1年間に10単位を上限として認める。 「校外講座」は、大学、高等専門学校、専修学校(高等課程・専門課程)等における学修について、要件を満たした場合において、1年間に10単位を上限として認める。 学校設定教科「教養総合」の各科目は、大学、高等専門学校、専修学校(高等課程・専門課程)等における学修について、要件を満たした場合において、1年間に10単位を上限として認める。 *「技能審査(情報)」、「校外講座」、「教養総合」の各科目の単位は、定通併修による単位認定、高等学校卒業程度認定試験の合格科目の単位認定、知識及び技能に関する審査に係る学修の単位認定と合算して、1年間に10単位、卒業までに36単位を上限とする。</p>										

学校名		東京都立新宿山吹中学校		課程	通信制	科 コース	普通科	(令和7年度入学生)				
各教科 ・科目	学年 種類 必履修・選択	標準 単位数	必履修			学校必履修			自由選択			※科目 ごとの 履修単 位数総数
			1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	▲4	▲4	▲4							4
	英語コミュニケーションⅡ	4							4	4		0～4
	英語コミュニケーションⅢ	4									4	0～4
	論理・表現Ⅰ	2										0
	論理・表現Ⅱ	2										0
	論理・表現Ⅲ	2										0
家庭	家庭基礎	2										0
	家庭総合	4	◇4	◇4								4
情報	情報Ⅰ	2	◆2	◆2	◆2							2
	情報Ⅱ	2								2	2	0～2
地理歴史	江戸から東京へ	1～2										0
理数	理数探究基礎	1										0
	理数探究	2～5										0
人間と社会	人間と社会	1										0
共通教科・科目単位数計			0～31	0～31	0～31				0～2	0～31	0～31	0～31
商業	ビジネス基礎	2～4							2	2	2	0～2
	マーケティング	2～4							2	2	2	0～2
	ビジネス法規	2～4							2	2	2	0～2
専門教科・科目単位数計									0～6	0～6	0～6	0～6
外国語	English Conversation	2							2	2	2	0～2
情報	技能審査(情報)	0～20							0～10	0～10	0～10	0～20
学校外学修	校外講座	0～20							0～10	0～10	0～10	0～20
教養総合	生成 A Ⅰ	2								2	2	0～2
教養総合	データサイエンス	2								2	2	0～2
教養総合	アントレプレナーシップ	2								2	2	0～2
教養総合	行動経済学・ゲーム理論	2								2	2	0～2
教養総合	クリエイティブグラフィックアート	2								2	2	0～2
教養総合	文章講座	2								2	2	0～2
教養総合	時事能力講座	2								2	2	0～2
教養総合	哲学対話	2								2	2	0～2
教養総合	ファイナンシャルプランナー	2								2	2	0～2
教養総合	心理学	2								2	2	0～2
教養総合	モダン建築	2								2	2	0～2
教養総合	ビジネス英語	2								2	2	0～2
教養総合	スペイン語	2								2	2	0～2
教養総合	消費生活と法律	2								2	2	0～2
教養総合	ひとりごはん教室	2								2	2	0～2
総合的な探究の時間Ⅰ			2	★2	★2							2
総合的な探究の時間Ⅱ			2		★2							2
ホームルーム活動			1	1	1							3～
生徒一人当たりの履修単位数計			～32	～32	～32							77～
習熟度別授業 少人数指導授業												
備考			<p>単元制・無学年制をとる。必履修科目を履修し、選択科目と合わせて74単位以上(Ⅱを除く)修得すれば卒業を認める。 1単位時間は50分とする。 「現代の国語」及び「言語文化」を履修後、「論理国語」「国語表現」「古典探究」を履修できる。 「歴史総合」を履修後、「日本史探究」「世界史探究」を履修できる。 「公共」を履修後、「倫理」「政治・経済」を履修できる。 「数学Ⅰ」を履修後、「数学Ⅱ」「数学B」「数学C」を履修できる。 「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」及び「数学A」及び「数学B」を履修後、「数学Ⅲ」を履修できる。 「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」を履修後、「音楽Ⅱ」「美術Ⅱ」「書道Ⅱ」を履修できる。 「英語コミュニケーションⅠ」を履修後、「英語コミュニケーションⅡ」を履修できる。 「英語コミュニケーションⅡ」を履修後、「英語コミュニケーションⅢ」を履修できる。 「情報Ⅰ」を履修後、「情報Ⅱ」を履修できる。 「現代の国語・言語文化」は、■の付いた年次で1回履修する。 「地理総合」は、□の付いた年次で1回履修、「歴史総合」は、☆の付いた年次で1回履修する。 「公共」は、▼の付いた年次で1回履修する。 「数学Ⅰ」は、◎の付いた年次で1回履修する。 理科は、○の付いた科目から3科目以上履修、または、○の付いた科目から1科目と▽の付いた科目を1科目履修する。 体育は、3種目を実施する。 保健は、●の付いた連続した年次で2単位履修する。 芸術は、△の付いた科目から1科目以上履修する。「英語コミュニケーションⅠ」は、▲の付いた年次で1回履修する。「家庭総合」は、◇の付いた年次で1回履修する。「情報Ⅰ」は、◆の付いた年次で1回履修する。 ★印の「総合的な探究の時間Ⅰ」および「総合的な探究の時間Ⅱ」は、原則、連続した年次で履修する。 卒業年度に「総合的な探究の時間Ⅱ」の履修が完了するようにする。 「人間と社会」は、「総合的な探究の時間Ⅱ」(1単位分)により実施する。 「技能審査(情報)」は、知識及び技能に関する審査に係る学修について、要件を満たした場合において、1年間に10単位を上限として認める。 「校外講座」は大学、高等専門学校、専修学校(高等課程・専門課程)等における学修について、要件を満たした場合において、1年間に10単位を上限として認める。 学校設定教科「教養総合」の各科目は大学、高等専門学校、専修学校(高等課程・専門課程)等における学修について、要件を満たした場合において、1年間に10単位を上限として認める。 *「技能審査(情報)」、「校外講座」、「教養総合」の各科目の単位は、定通併修による単位認定、高等学校卒業程度認定試験の合格科目の単位認定、知識及び技能に関する審査に係る学修の単位認定と合算して、1年間に10単位、卒業までに36単位を上限とする。</p>									

学校名		東京都立新宿山吹中学校		課程	通信制	科 コース	普通科	(令和6年度入学生)				
各教科 ・科目	学年 種類 必修・選択	標準 単位数	必修			学校必修			自由選択			※科目ご との履修 単位数
			1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	▲4	▲4	▲4							4
	英語コミュニケーションⅡ	4							4	4		0～4
	英語コミュニケーションⅢ	4									4	0～4
	論理・表現Ⅰ	2										0
	論理・表現Ⅱ	2										0
	論理・表現Ⅲ	2										0
家庭	家庭基礎	2										0
	家庭総合	4	◇4	◇4								4
情報	情報Ⅰ	2	◆2	◆2	◆2							2
	情報Ⅱ	2							2	2		0～2
地理歴史	江戸から東京へ	1～2										0
理数	理数探究基礎	1										0
	理数探究	2～5										0
人間と社会	人間と社会	1										0
共通教科・科目単位数計			0～31	0～31	0～31				0～2	0～31	0～31	0～31
商業	ビジネス基礎	2～4							2	2	2	0～2
	マーケティング	2～4							2	2	2	0～2
	ビジネス法規	2～4							2	2	2	0～2
専門教科・科目単位数計									0～6	0～6	0～6	0～6
外国語	English Conversation	2							2	2	2	0～2
情報	技能審査(情報)	0～20							0～10	0～10	0～10	0～20
学校外学修	校外講座	0～20							0～10	0～10	0～10	0～20
教養総合	生成 AⅠ	2							2	2		0～2
教養総合	データサイエンス	2							2	2		0～2
教養総合	アントレプレナーシップ	2							2	2		0～2
教養総合	行動経済学・ゲーム理論	2							2	2		0～2
教養総合	クリエイティブグラフィックアート	2							2	2		0～2
教養総合	文章講座	2							2	2		0～2
教養総合	時事能力講座	2							2	2		0～2
教養総合	哲学対話	2							2	2		0～2
教養総合	ファイナンシャルプランナー	2							2	2		0～2
教養総合	心理学	2							2	2		0～2
教養総合	モダン建築	2							2	2		0～2
教養総合	ビジネス英語	2							2	2		0～2
教養総合	スペイン語	2							2	2		0～2
教養総合	消費生活と法律	2							2	2		0～2
教養総合	ひとりごはん教室	2							2	2		0～2
総合的な探究の時間Ⅰ			2	★2	★2							2
総合的な探究の時間Ⅱ			2		★2							2
ホームルーム活動			1	1	1							3～
生徒一人当たりの履修単位数計			～32	～32	～32							77～
習熟度別授業 少人数指導授業												
備考			<p>単元制・無学年制をとる。必修科目を履修し、選択科目と合わせて74単元以上(単位を除く)修得すれば卒業を認める。 1単元時間は50分とする。 「現代の国語」及び「言語文化」を履修後、「論理国語」「国語表現」「古典探究」を履修できる。 「歴史総合」を履修後、「日本史探究」「世界史探究」を履修できる。 「公共」を履修後、「倫理」「政治・経済」を履修できる。 「数学Ⅰ」を履修後、「数学Ⅱ」「数学B」「数学C」を履修できる。 「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」及び「数学A」及び「数学B」を履修後、「数学Ⅲ」を履修できる。 「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」を履修後、「音楽Ⅱ」「美術Ⅱ」「書道Ⅱ」を履修できる。 「英語コミュニケーションⅠ」を履修後、「英語コミュニケーションⅡ」を履修できる。 「英語コミュニケーションⅡ」を履修後、「英語コミュニケーションⅢ」を履修できる。 「情報Ⅰ」を履修後、「情報Ⅱ」を履修できる。 「現代の国語・言語文化」は、■の付いた年次で1回履修する。 「地理総合」は、□の付いた年次で1回履修、「歴史総合」は、☆の付いた年次で1回履修する。 「公共」は、▼の付いた年次で1回履修する。 「数学Ⅰ」は、◎の付いた年次で1回履修する。 理科は、○の付いた科目から3科目以上履修、または、○の付いた科目から1科目と▽の付いた科目を1科目履修する。 体育は、3種目を実施する。 保健は、●の付いた連続した年次で2単位履修する。 芸術は、△の付いた科目から1科目以上履修する。「英語コミュニケーションⅠ」は、▲の付いた年次で1回履修する。「家庭総合」は、◇の付いた年次で1回履修する。「情報Ⅰ」は、◆の付いた年次で1回履修する。 ★印の「総合的な探究の時間Ⅰ」および「総合的な探究の時間Ⅱ」は、原則、連続した年次で履修する。 卒業年度に「総合的な探究の時間Ⅱ」の履修が完了するようにする。 「人間と社会」は、「総合的な探究の時間Ⅱ」(1単元分)により実施する。 「技能審査(情報)」は、知識及び技能に関する審査に係る学修について、要件を満たした場合において、1年間に10単位を上限として認める。 「校外講座」は大学、高等専門学校、専修学校(高等課程・専門課程)等における学修について、要件を満たした場合において、1年間に10単位を上限として認める。 学校設定教科「教養総合」の各科目は大学、高等専門学校、専修学校(高等課程・専門課程)等における学修について、要件を満たした場合において、1年間に10単位を上限として認める。 *「技能審査(情報)」、「校外講座」、「教養総合」の各科目の単位は、定通併修による単位認定、高等学校卒業程度認定試験の合格科目の単位認定、知識及び技能に関する審査に係る学修の単位認定と合算して、1年間に10単位、卒業までに36単位を上限とする。</p>									